

通信・ITネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

## Wi-Fi以外でスマートフォンが活用できる!「sXGP」の魅力とは?

様々ある構内無線通信システムの中で今注目されているsXGP(エスエックスジーピー)を皆様はご存知でしょうか?

今回は基本的な内容から特長、そしてPHSやWi-Fiとの比較まで、sXGPについて詳しくご紹介します。既にご存知の方も、改めてご参考にしていただければ幸いです。

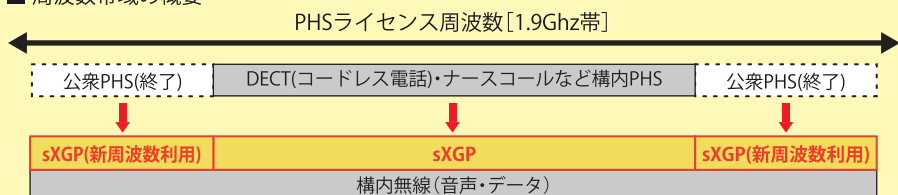


### sXGPとは

sXGP (shared Xtended Global Platform)は、携帯電話のLTE技術(4G)を応用した、免許不要で使用できるプライベートLTEです。2017年に制度化され、従来PHSで利用していた電波を使い、音声通話やデータ通信を可能とするプライベートネットワーク

を構築できます。病院、工場、企業など、電波の届きやすさとセキュアで安定した通信で業務効率化、DX推進に効果が期待される通信方式です。PHSでは音声通話だけでしたが、sXGPではスマートフォンの様にデータ通信も可能になります。

#### ■ 周波数帯域の概要



sXGPが使用する周波数帯はPHSで利用していた1.9GHz帯です。Wi-Fi、構内PHS、DECTなど他の無線方式と干渉し合わない通信方式で利用できます。また、2023年1月に公衆PHSが終了した代わりにsXGPを新周波数として利用できるようになりました。伝送速度は、下り最大14Mbpsを実現。

### 4つの特長

#### 01 免許不要

独自の無線ネットワーク構築に必要な商用免許が不要で、比較的手軽に導入できます。

#### 02 安定した通信環境

Wi-Fiなど他の電波の影響を受けにくく、安定した通信で音声通話やデータ通信に最適です。

#### 03 高いセキュリティ

携帯電話レベルのセキュリティを備え、クローズドなネットワーク構築で情報漏洩リスクを抑制します。

#### 04 利便性の拡大

スマートフォンで内線通話とデータ通信も可能です。ナースコール連携やデュアルSIM搭載で屋外利用も実現できます。

### 構内PHS・Wi-FiとsXGPの違い

	構内 PHS (PBX システム)	Wi-Fi	sXGP
周波数帯	1.9GHz	2.4GHz / 5GHz	1.9GHz / + 新周波数帯
免許	不要	不要	不要
通信速度	下り 32kbps	下り 100Mbps 以上	下り最大 14kbps
通信範囲 (見通し)	約 80m	約 20m ~ 50m	約 100m
セキュリティ	○高セキュリティ	△セキュリティ対策必要	◎SIM 認証の高セキュリティ
主な用途	音声利用	データ通信、スマホ対応	音声 & データ通信、スマホ対応

電波が良い  
無線干渉が少ない  
スマホで内線通話も  
データ通信も♪



sXGPは構内PHSの後継としてだけでなく、IoT時代に対応したセキュアで安定した無線通信システムとして様々な分野で注目されています。大和電設工業ではsXGPに関するご相談を承っております。お気軽にお問い合わせください。

#### sXGPのご案内

NEC: プライベートLTE (sXGP)  
病院や工場・倉庫での活用例も  
ご確認いただけます

